

# 第5回北上川上流大規模氾濫減災協議会

## 議事概要

- 日時 : 令和3年2月10日(水) 13:30~14:30
- 場所 : 岩手河川国道事務所 2階 大会議室(WEB会議併用)
- 出席者 : 出席者名簿のとおり

### 1. 協議会の流れ

#### (1) 協議会規約の改定(案)について

住民の避難行動及び水害後の運行が地域の復旧・復興にも関係することから、公共交通事業者を構成員とする規約の改定について提案し承認を得た。

#### (2) 平成28年度~令和2年度の北上川上流取組状況について(中間報告)

事務局からの説明

#### (3) 北上川上流における次期5ヶ年計画の取組方針(案)について

北上川上流域の現状、課題及びこれまでの取組を踏まえ、令和3年度~令和7年度までの次期取組方針を提案し承認を得た。

#### (4) その他

次回の開催については、出水期前を予定する。

## 2. 各構成員からの発言（抜粋）

### ○あいさつ

令和2年7月の豪雨では、九州はもちろんのこと、東北の山形県においても水災害による甚大な被害が発生するなど、毎年全国各地で激甚な自然災害が発生している。

本協議会はH27.9に関東東北豪雨を踏まえ、堤防やダムなどの施設では防ぎ切れない洪水が必ず発生するものとして意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える水防災意識社会再構築ビジョンが策定され、概ね五か年で取り組む目標を掲げて進めてきた。

今年度は最終年度である。今日は第5回協議会になるが、これまでの五か年で取り組んできた内容の報告ならびに北上川上流における次期5ヶ年計画の取組方針（案）について意見交換したいと考えているので、忌憚のないご意見をいただきたい。

### <北上川上流における次期5ヶ年計画の取組方針（案）について>

#### ○構成員

想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知については、洪水等の水害リスクの情報とハザードマップをHPで掲載するとともに、住民の希望に応じて職員が出張する講座等を活用して周知を継続する。

また、新たに指定される河川の浸水想定区域についても、ハザードマップの更新と、住民周知に取り組んでいく。

マイタイムラインの普及促進については、マイタイムラインの概要と作成例をHPや広報に掲載する取組を進めている。加えて、住民の希望に応じて職員が出張する講座等によるマイタイムライン講習会の実施により普及に取り組んでいく。

マイタイムラインを使いながら避難について住民に考えてもらうことが大変重要である。

住民参加型の実践的な訓練の実施については、自主防災組織、福祉関係者、水防団等による避難訓練を継続して実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、職員による感染症対策を盛り込んだ指定緊急避難場所設置訓練を実施した。感染症の状況を踏まえた訓練を引き続き実施していく。

#### ○構成員

防災マップの更新を行っており、出水期までに各家庭に配布予定である。

住民に対し、河川の氾濫リスクなど周知徹底を図るとともに総合防災訓練等において水害に対する避難訓練を継続して行い、住民一人一人に対し、自分の命は自分で守るなど、防災意識の向上に努めていく。

情報伝達においては、防災行政無線のデジタル化に合わせ、スマートフォン及び登録制メールを活用した防災・避難情報の提供も実施しており、将来的にもICTを活用

し、必要な情報を必要な地域に速やかに提供できるよう努めていく。

当町においても消防団員の減少・高齢化などが課題となっており、今後とも各種手段を尽くし、人材の確保に努め、水防体制を維持していきたい。

#### ○構成員

75歳以上の高齢者宅には戸別受信機を配布するなど災害弱者の対策を進めている。自主防災組織のフォローを引き続き行っていく。

#### ○構成員

防災士による防災学習会を開催。洪水被害をできるだけ軽減するため、自主防災組織のスキルアップと活用を図り、自助・共助の力を育成し公助としてしっかり将来的にサポートしていく体制を構築していきたい。北上川上流の減災に係る取組に町としてもしっかり取り組んでいきたい。

#### ○構成員

自主防災組織のスキルアップについては地域差が大きいと感じており、改めて取組方針にある防災・減災に向けた自助・共助・公助の取組を具体的に進めていく。

地域住民参加型の訓練については、高齢者ばかりではなく若い世代が主体になるような防災・減災に対する取組が必要であり、力を入れて進めていきたい。

過去の洪水による被害経験を活かしながら対応していくことが大切であり、取組方針について計画的に取り組んでいく必要がある。

支川及びその合流点付近の減災対策が重要と考えており、水位の把握とその対応など、ソフト面の強化が重要と考えている。

#### ○構成員

各地域の防災組織等との連携、防災マップの熟知や防災体制を整えていくのが重要。防災無線のデジタル化を進め、住民への情報伝達体制の強化を図っていく。

消防団、自主防災組織、地域の様々な取り組みを行っている団体等との連携が必要不可欠であり、地域住民の防災意識の向上が早急な課題だと考えている。

第5回 北上川上流大規模氾濫減災協議会  
出席者名簿

構 成 員		出欠	備 考
役 職	氏 名		
盛岡市長	谷藤 裕明	WEB	代理:危機管理統括監 吉田 尚邦
花巻市長	上田 東一	WEB	
北上市長	高橋 敏彦	欠席	
遠野市長	本田 敏秋	WEB	代理:防災危機管理課長 菊池 巧
一関市長	勝部 修	WEB	代理:防災安全対策監兼防災課長 小山 晃
八幡平市長	田村 正彦	WEB	代理:防災安全課長 畑山 直巳
奥州市長	小沢 昌記	WEB	代理:危機管理課長 門脇 純
滝沢市長	主濱 了	WEB	代理:防災防犯課長 日向 秀次
雫石町長	猿子 恵久	WEB	代理:副町長 吉田 和彦
岩手町長	佐々木 光司	WEB	
紫波町長	熊谷 泉	WEB	
矢巾町長	高橋 昌造	WEB	
西和賀町長	細井 洋行	欠席	
金ヶ崎町長	高橋 由一	WEB	
平泉町長	青木 幸保	WEB	
東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社長	石田 亨	WEB	代理:総務部企画安全室長 青柳 博彦
岩手県 総務部長	白水 伸英	WEB	代理:総務部総合防災室長 藤澤 修
岩手県 県土整備部長	中平 善伸	来所	代理:県土整備部 河川港湾担当技監 佐々木 一彦
岩手県 盛岡広域振興局 土木部長	幸野 聖一	WEB	
岩手県 盛岡広域振興局 土木部 岩手土木センター所長	沖野 智章	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部長	白旗 牧人	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部 花巻土木センター所長	戸来 竹佐	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部 北上土木センター所長	及川 郷一	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部 一関土木センター所長	小野寺 淳	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部 遠野土木センター所長	北村 安	WEB	
岩手県 県南広域振興局 土木部 千厩土木センター所長	加藤 伸三	WEB	
盛岡地方気象台長	安斉 良悦	来所	
東北運輸局鉄道部長	保刈 芳信	WEB	代理:鉄道部技術課長 玉田 紀之
北上川ダム統合管理事務所長	斉藤 喜浩	WEB	代理:副所長 片野 正章
岩手河川国道事務所長	平井 康幸	来所	